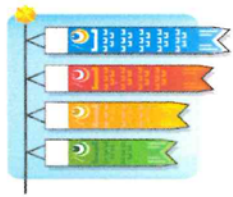


むさしデンタルオフィス通信

2009.5

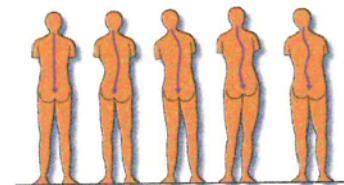
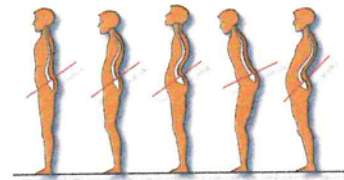
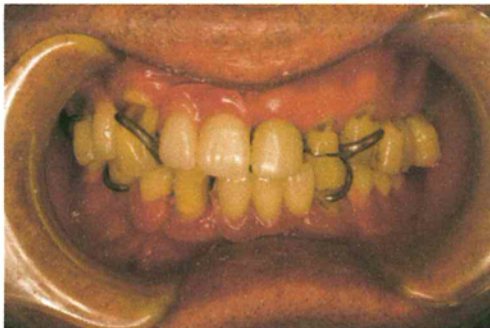
VOI. 21



こんにちは。院長の武蔵です。ゴールデンウィークが過ぎると7月までは、祝祭日はありませんね。休みがないと、体が大変ですが気合でカバーしようと思います。皆さんもゴールデンウィークでゆっくりして、5月6月をがんばりましょう。

歯の治療

歯医者に行くと、歯を治療してもらおう。これって当たり前のことですよ。では、何で歯を治療するのでしょうか？痛いから、腫れたから、理由は患者さんそれぞれですが、本当に大事な事は噛める状態を長く保つということです。そのためには歯を1本1本と考えるのではなくて、口の中全体を1つの器官として考えていかなければいけません。歯の痛みがなくなっても、食事を美味しく食べられなければ、その歯が存在する意味がなくなってしまうのです。口の中は歯や歯茎、骨、筋肉、関節など様々な組織から成り立っています。歯が1本なくなるだけで、噛みあわせのバランスが崩れてしまいます。噛み合わせのバランスが崩れると、体のバランスが崩れてしまいます。野生動物は歯がなくなると、獲物を取ることも食べることもできません。皆さん大きな鏡の前で真っすぐ立ってみて下さい。首が傾いている人はいませんか？首が傾いてしまう人の中の多くが噛み合わせのバランスが崩れています。首が傾くと、肩の位置が左右平衡になりません。肩の位置が変わると腰（骨盤）の位置がずれます。腰の位置がずれると、足の長さにもずれが出てきます。そして体全体のバランスが崩れた状態が長く続くと、腰痛や肩こり、頭痛や目の疲れなどといった全身状態の変化になって現れます。私自信が、患者さんを診察するときにも気をつけていることは、患者さんの痛みを取り除いた後、どのように治療を行えばしっかりと噛めるようなバランスのよい口の中になるのかということです。鏡を見て、バランスが崩れている人は一度歯医者にご相談に行ってみるのもいいと思います。



阿部晴彦先生

SHILLASYSTEM の概念とその臨床活用より

